

令和6年度 墨田区立八広小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 勝田 光徳

学校教育目標	やさしい心 ひろがる学び のびのび育つ やひろの子
目指す学校像	(1) 子供が学校に行くことが楽しいと感じ、生きがいのある学校 (2) 教職員が子供の良さを頑張り認め、協働して活動する学校 (3) 保護者に開いた、親しみのある学校 (4) 地域に根ざした学校
目指す児童像	日本国憲法、教育基本法に則り全体の奉仕者としての自覚に立ち、人間の生命と心を大切に育む教育の推進に尽力する。「結果はともかく努力すること自体に価値がある」という価値観を身に付けさせ、将来、社会に貢献できる子供を育てる。
目指す教師像	①学習や生活の中で、子供たちの良さを頑張りを常に認める教師 ②教職員が学び合い、専門性や持ち味を生かしながら成果を出していく教師

○令和6年度 学校経営計画における重点内容

- ・確かな学力を身に付けさせるため、授業や朝学習等で組織的、計画的に学力向上に取り組む。【学力向上】
- ・一人一人の子供をかけがえのない存在として尊重し、お互いを認め合える関係や偏見や差別のない人間関係の構築を目指す。

【人権教育】

- ・感謝の気持ちを挨拶で伝えることができるよう「感謝の挨拶」を励行し、挨拶が学校や地域に響き渡り挨拶があふれる学校や地域にする。【生活指導】
- ・「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、保護者・地域と協働・連携し教育活動の充実に努める。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
各教科指導等	確かな学力を身に付けさせるため、授業や朝学習等で組織的、計画的に取り組む【学力向上】	授業(ねらい、教材、活動、指導方法、指導形態、評価と指導)を充実させ、「授業観察の視点(授業観察シート)」をもとに授業を行う。	教員アンケートで「分かりやすい授業を『授業観察の視点』をもとに工夫して行っている」と肯定的に回答した教員の割合	4	児童アンケートで「先生の授業は分かりやすい」と肯定的に回答した児童の割合	4	教員アンケートで「分かりやすい授業を行っている」と肯定的に回答した教員の割合が100%、児童アンケートで「先生の授業は分かりやすい」と肯定的に回答した児童の割合は97%であり、取組が児童の成果として表れた。	授業(ねらい、教材、活動、指導方法、指導形態、評価と指導)を充実させ、児童に学習内容が確実に身に付くように指導し、さらに指導の充実を図っていく。	4	4	学校公開等で先生方が熱心であり工夫した授業を行っている。子供たちも集中して授業に取り組んでいる。学力調査にも成果として表れている。引き続き子供たちのためにわかりやすい授業を行ってほしい。
			4 90%以上の授業で実践した教員が90%以上		4 肯定的に回答した児童の割合80%以上						
			3 90%以上の授業で実践した教員が70%以上		3 肯定的に回答した児童の割合60%以上						
2 70%以上の授業で実践した教員が70%以上	2 肯定的に回答した児童の割合40%以上										
		1 70%以上の授業で実践した教員が70%未満	1 肯定的に回答した児童の割合40%未満								
		「読み、書き、計算」など、いわゆる「見える学力」の定着のため、授業や朝学習、家庭学習等で習熟を図る。	教員アンケートで「授業や朝の学習など基礎学力の定着に向けた指導を行っている」と肯定的に回答した教員の割合	4	区学力調査(前期)校内学力調査(後期)で、国語、社会、算数、理科、英語の全観点(前期51観点、後期66観点)のうち全国平均以上の観点数	4	教員アンケートでは肯定的に回答した教員の割合が100%、区学力調査(後期)で国語、社会、算数、理科、英語の全観点のうち全国平均以上の観点数が、94%(66観点のうち63観点が全国平均以上)となり、前年度より、学力が大きく向上した。	今後も児童の課題を捉えつつ「読み、書き、計算」など、いわゆる「見える学力」の定着のため、授業や朝学習、家庭学習等で習熟を図っていく。	4	先生方のわかりやすい授業が、学力調査の結果として表れ、大変素晴らしい。確実に学力向上、学習内容の定着が図られていることが分かる。今後は運動も頑張ってもらいたい。	
4 90%以上の授業等で全教員が実施した	4 全観点のうち全観点が全国平均以上										
3 90%以上の授業等で実践した教員が80%以上	3 全観点のうち40観点以上が全国平均以上										
2 70%以上の授業等で実践した教員が70%以上	2 51観点のうち30観点以上が全国平均以上										
		1 70%以上の授業等で実践した教員が70%未満	1 51観点のうち30観点未満								
		一人1台のタブレット端末やICT機器を有効に活用し、子供が「わかった」「できた」と達成感を味わえる授業づくりに努める。	教員アンケートで「ICT機器(タブレット端末、プロジェクターなど)を積極的に活用している」と肯定的に回答した教員の割合	4	児童アンケートで「ICT機器(タブレット端末、プロジェクターなど)を使った授業は分かりやすい」と肯定的に回答した児童の割合	4	教員アンケートでは肯定的に回答した教員の割合が、97.1%、児童アンケートで「分かりやすい」と肯定的に回答した児童の割合が94.5%で、取組指標、成果指標ともに達成した。	各教室の大型モニター等に積極的に活用している。今後も、一人1台のタブレット端末やICT機器を有効に活用し、子供が「わかった」「できた」と達成感を味わえる授業づくりに努める。	4	4	子供たちがタブレット端末やモニターなどを使った授業はわかりやすいと答えているので、今後とも積極的に活用してほしい。
4 80%以上の授業等で全教員が実施した	4 肯定的に回答した児童の割合90%以上										
3 70%以上の授業等で実践した教員が70%以上	3 肯定的に回答した児童の割合70%以上										
2 60%以上の授業等で実践した教員が60%以上	2 肯定的に回答した児童の割合60%以上										
		1 50%以上の授業等で実践した教員が60%未満	1 肯定的に回答した児童の割合60%未満								
生活指導等	一人一人の子供をかけがえのない存在として尊重し、お互いを認め合える関係や偏見や差別のない人間関係の構築を目指す【人権教育】	いじめの未然防止や早期発見・解決に向けた組織的な取組を人権教育の視点から行う。	教員アンケートで「いじめをさせない、許さないなど人権を尊重する姿勢で指導している」と肯定的に回答した教員の割合	4	児童アンケートで「先生はいじめをさせない、許さないことを指導している」と肯定的に回答した児童の割合	4	教員アンケートでは肯定的に回答した教員の割合が、100%、児童アンケートでは肯定的に回答した児童の割合が、98.1%で、取組指標・成果指標ともに目標値を達成した。	保護者アンケートでは90.7%だった。保護者への理解・啓発を含め、今後いじめの未然防止や早期発見・解決に向けた組織的な取組を人権教育の視点から行っていく。	4	4	いじめ防止の指導をしっかりしているので安心する。子供たち同士もさまざまな人間関係がある中で、先生方も大変だと思うが、これからは子供たちの様子をよく見てほしい。
			4 全教員が実施した		4 90%以上の児童が指導していると回答						
3 90%以上の教員が取り組んだと回答	3 80%以上の児童が指導していると回答										
2 70%以上の教員が取り組んだと回答	2 70%以上の児童が指導していると回答										
		1 取り組んだと回答した教員が70%未満	1 指導していると回答した児童が70%未満								
		基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	教員アンケートで「子供に思いやりの心や規範意識などを育てよう指導している」と肯定的に回答した教員の割合	3	児童アンケートで「先生は思いやりの心や約束、ルールを守ることが大切だと指導している」と肯定的に回答した児童の割合	4	教員アンケートで肯定的に回答した教員の割合が、94.6%、児童アンケートでは肯定的な割合が、99.2%であり、取組指標が3、成果指標が4とほぼ達成した。	全教員が実施したと回答できる。今後とも、基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組んでいく。	4	4	子供の肯定的な回答が99%ととても高い。先生方の日頃からの指導の賜物だと思う。道徳の公開授業や保護者会などでどんな指導をしているのか保護者とも話し合っていくと良い。
4 全教員が実施したと回答	4 90%以上の児童が指導していると回答										
3 90%以上の教員が取り組んだと回答	3 80%以上の児童が指導していると回答										
2 70%以上の教員が取り組んだと回答	2 70%以上の児童が指導していると回答										
		1 取り組んだと回答した教員の割合が70%未満	1 指導していると回答した児童が70%未満								
		「感謝の挨拶」を励行し、挨拶が学校や地域に響き渡り挨拶があふれる学校や地域にする	日頃の挨拶指導、年3回以上挨拶運動等の取組を計画的・徹底的・継続的に取り組む。	3	教員が児童や保護者、地域に「すすんであいさつや返事ができる」よう指導し、自分も行っている」と肯定的に回答した教員の割合	3	児童アンケートで「すすんであいさつや返事ができる」と肯定的に回答した児童の割合	教員アンケートでは肯定的に回答した割合が97.2%、児童アンケートでは肯定的に回答した児童の割合が90.7%であり、取組指標・成果指標ともに3であった。	4	4	挨拶については、全校で取り組んだ結果、校内や地域で明るく元気な挨拶がたくさんできているようになった。PTAや地域もできる限りの協力はしていく。
4 全教員が実施している	4 95%以上の児童がしていると回答										
3 90%以上の教員がしていると回答	3 80%以上の児童がしていると回答										
2 70%以上の教員がしていると回答	2 70%以上の児童が指導していると回答										
		1 指導・行っていると回答した教員が70%未満	1 できると回答した児童が70%未満								

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。	教職員の危機管理意識を高め、子供たちが安心・安全に過ごせる学校環境を整える。	教員アンケートで「安全対策(門の施錠やつり下げ名札の着用、交通安全教室など)を適切に行っている」と肯定的に回答した教員の割合	3	保護者アンケートで「安全対策(門の施錠やつり下げ名札の着用、交通安全教室など)を適切に行っている」と肯定的に回答した保護者の割合	3	教員アンケートでは肯定的に回答した教員の割合が97.2%、保護者アンケートでは82.19%で、取組指標・成果指標ともに3であった。	保護者には学校の安全管理については保護者会等でも伝えていく。今後とも教職員の危機管理意識を高め、子供たちが安心・安全に過ごせる学校環境を整えていく。	4	4	保護者アンケートの結果は門の施錠、感染症流行の連絡等学校が行っていることが、伝わっていないことが原因と聞いた。理解・啓発を図ってほしい。	
			4 全教員が実施していると回答		4 90%以上が行っていると回答							
			3 90%以上の教員が行っていると回答		3 80%以上が行っていると回答							
			2 70%以上の教員が行っていると回答		2 70%以上が行っていると回答							
			1 行っていると回答している教員が70%未満		1 行っていると回答した保護者が70%未満							
		学校運営協議会や保護者会等で学校経営方針等を説明し、地域・保護者と協力して児童の育成を図る。	教員アンケート「行事や学校公開、HP等の公開」「PTAや地域のイベントに協力的」の項目で肯定的に回答した教員の割合	4	学校評価アンケート全20項目のうち、学校運営協議会委員の肯定的評価の割合	4	教員アンケートでは肯定的評価は100%、学校運営協議会委員の肯定的評価も20項目のうち全項目で100%だった。取組指標・成果指標ともに達成した。	4	引き続き、学校運営協議会や保護者会等で学校経営方針等を説明し理解を図っていく。CS(コミュニティスクール)モデル校として、地域・保護者と協力して児童の育成を図る。	4	4	学校と地域との協力関係はできてきている。保護者の中にはさまざまな考えや思いを持っている人がいるので、学校の方針や地域の特徴を丁寧に説明していく必要がある。
			4 90%以上の教員が行っていると回答		4 全項目で90%以上の肯定的な評価をしている							
			3 80%以上の教員が行っていると回答		3 90%以上の項目で90%以上の肯定的な評価をしている							
			2 70%以上の教員が行っていると回答		2 80%以上の項目で80%以上の肯定的な評価をしている							
		校内環境を整備し、児童が落ち着いて学習に取り組み、安心・安全に生活できるようにする。	教員アンケートで「校内の清掃や環境整備、美化に積極的に取り組むよう指導し、学習環境を整えている」と肯定的に回答し、教室環境が整っている教員の割合	4	保護者アンケートで「校内の清掃や環境整備や美化に積極的に取り組んでいる」と肯定的に回答した保護者の割合	4	教員アンケートで肯定的に回答している割合が82.9%、保護者アンケートでは肯定的な回答の割合が92.7%であり、取組指標・成果指標ともに達成した。	4	児童の清掃指導、校内環境の整備日を設定し、安全点検等で常に校内環境を整えていく。児童が落ち着いて学習に取り組み、安心・安全に生活できるようにする。	4	4	学校公開等で来ると廊下や教室などいつもきれいになっている。そうした環境を育てるのは子供たちにとっても良い。落ち着いて勉強ができる環境をであると思う。
			4 80%以上が行ったと回答し90%の教室が整っている		4 80%以上が行っていると回答							
			3 70%以上が行ったと回答し80%の教室が整っている		3 70%以上が行っていると回答							
2 60%以上が行ったと回答し70%の教室が整っている	2 60%以上が行っていると回答											
家庭・地域連携	「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、保護者・地域と協働・連携し教育活動の充実に努める。	学校ホームページや学校だより等を充実させ、学校公開、保護者会等を通じて積極的に教育活動の情報発信をする。	教員アンケートで「行事や学校公開、ホームページなどで学校生活の様子が分かるようにしている」と肯定的に回答した教員の割合	4	保護者アンケートで「行事や学校公開、ホームページなどで学校生活の様子が分かるようにしている」と肯定的に回答した保護者の割合	4	教員アンケートでは肯定的な回答の割合が100%、保護者アンケートで肯定的な回答の割合が90.6%であり、取組指標・成果指標ともに4であり、昨年度より向上した。	引き続き学校ホームページや学校だより等の内容を充実させていく。また、学校公開、保護者会等を通じて積極的に教育活動の情報発信をしていく。	4	4	学校だよりには、校長の教育方針や学校行事等の内容が掲載され学校方針や教育活動がよく理解できる。学校のホームページはほぼ毎日更新されている。今後も続けてほしい。	
			4 90%以上の教員が取り組んだと回答		4 90%以上の保護者が取り組んでいると回答							
			3 70%以上の教員が取り組んだと回答		3 70%以上の保護者が取り組んでいると回答							
			2 50%以上の教員が取り組んだと回答		2 50%以上の保護者が取り組んでいると回答							
			1 取り組んだと回答した教員が50%未満		1 取り組んでいると回答した保護者が50%未満							
		PTA・地域の行事やイベントに参加することにより、学校と保護者、地域が協力して子供たちを育てる。	教員アンケートで「PTAや地域の行事、ボランティアなどの活動に協力している」と肯定的に回答した教員の割合	4	保護者アンケートで「学校はPTAや地域の行事、ボランティアなどの活動に協力している」と肯定的に回答した割合	4	教員アンケートでは肯定的な回答の割合が87.1%、保護者アンケートの肯定的な回答の割合が91.2%であり、取組指標・成果指標ともに達成し、昨年度より向上した。	4	CSモデル校3年目となり、学校と保護者・地域との連携・協力が高まってきた。引き続き地域の行事やイベントなど保護者に周知し、理解・啓発を図っていく。	4	4	PTAや地域の行事・イベントなどを保護者の方に伝え、参加してもらうことが課題であったが、徐々に理解してもらえるようになってきた。今後も学校と連携をとっていきたい。
			4 80%以上の教員が参加したと回答		4 80%以上が協力していると回答							
			3 70%以上の教員が参加したと回答		3 70%以上が協力していると回答							
			2 50%以上の教員が参加したと回答		2 50%以上が協力していると回答							
			1 取り組んだと回答した教員が50%未満		1 協力していると回答した保護者が50%未満							

○令和6年度 学校経営報告のまとめ(総括)

児童の学力の状況について、区学力調査結果では各学年・各教科の観点別の結果は概ね向上している。特に、学校独自に行った後期の学力調査では、成果が顕著に表れている。引き続き全教職員で、日々の授業改善に努め、学習内容が確実に定着できるよう引き続き指導の充実に努めていく。

生活指導面では「あいさつがあふれる学校」を目指し、「自分から先に挨拶」を目標に「挨拶運動」「挨拶宣言」等に全校で取り組み、成果をあげた。次年度以降も、継続して元気に挨拶ができるよう、児童の意識を高める取り組みを行っていく。また、いじめ防止の指導、SNS学校ルールの指導などは、継続していく必要がある。不登校児童も年々増加傾向にある。不登校の早期発見・対応と家庭へのスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を活用したさらなる支援を行っていく。

学校の管理運営については、PTA、地域との連携等成果を上げた。次年度も円滑に組織的な運営を行い、迅速かつ適切に対応できるようにしていく。

家庭・地域連携については、次年度は学校公開期間を年3回(トータル1週間程度)設定し授業を参観していただくとともに、学校行事(運動会、文化的行事等)も積極的に公開し、開かれた学